

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,718	25.6	134	△0.9	132	△1.5	80	△4.1
25年3月期第2四半期	2,164	29.5	135	713.1	134	181.7	83	86.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.48	22.33
25年3月期第2四半期	24.55	23.66

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	2,495	1,012	40.5	295.35
25年3月期	2,498	972	38.8	283.92

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,010百万円 25年3月期 969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	11.7	415	10.6	411	8.9	246	12.3	71.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当第2四半期累計期間において新株予約権の行使がされております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該新株予約権行使後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,421,200 株	25年3月期	3,416,400 株
26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
26年3月期2Q	3,418,298 株	25年3月期2Q	3,408,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年末から続いている円高の是正や株価の上昇が進行し、企業収益が改善、個人消費も緩やかながら持ち直してまいりました。一方、長引く欧州諸国の財政問題、新興国の成長鈍化等、依然として世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、日本経済の緩やかな回復に伴い、顧客企業における広告宣伝投資、販促関連投資にも復調の兆しが見られ、当第2四半期においても堅調に推移しております。

このような環境の中で当社は、平成25年5月に発表した中期経営計画において策定した下記3つの基本戦略に基づき事業を推進してまいりました。

新規事業への本格的な進出

多様化するクライアントのニーズに的確に応えていくため、従来からの主力事業であるイベント・展示会事業のノウハウを生かし、コンファレンス&コンベンションサポート事業、商環境サポート事業、デジタルマーケティングサポート事業を新たな事業の柱とするべく、各事業部として発足しサービス提供を始めました。

コンファレンス&コンベンションサポート事業では、企業のマーケティング活動としてのセミナー、コンファレンスやコンベンション開催に向けての企画立案、集客から当日の運営、アフターフォローまでサポートを行います。

商環境サポート事業では、企業の顔となるショールームやショップを、物件選定からデザイン・設計・施工までをトータルにサポートし、「売れる空間」としてプロデュースいたします。

デジタルマーケティングサポート事業では、ITツール、Webサイト、データベースをはじめとするITソリューションをイベントと連動させることで、来場者の行動情報を可視化し、展示会出展の効果を最大化するツールとして提供しております。

各事業ともに新規顧客の獲得、また既存顧客のニーズに応える形で案件数を重ね、着実に実績を増やしております。

また、平成25年7月に株式会社アイアクトと資本業務提携を結び、デジタルマーケティングサービス推進室とともに新商材「EXPOLINE」(展示会出展企業向けに来場者の事前集客、来場者情報のデータベース化、事後フォローを一本化したサービス)を開発し、デジタルマーケティングサポート事業として新たなサービス提供を開始しました。

「点から線へ、線から面へ」長期的なマーケティングサポートへの取り組み

展示会・イベント単体の企画・制作・運営を行う「点」のサポートから、年間を通じた販促プロモーション施策等を提案し、実行していく「線」のサポートへ、そして一連のマーケティング活動を有機的に連動・連携させることで、潜在顧客の掘り起こしや、見込み顧客の創出等、顧客のマーケティング戦略により近づいた「面」のサポートへとシフトするべく、顧客業界軸を中心とした営業体制の強化に取り組んでまいりました。

専門性および生産性の向上

各事業部における役割分担の再定義を行い、提供するサービスに応じてより専門的にサポートできる、商品軸を基本とした体制に再編し、それぞれが顧客業界研究をさらに深め、顧客ニーズに最も適した付加価値の高い提案を行える体制を構築してまいりました。

また、デザイン部門および制作部門の内部稼働率の向上や外注パートナーとのより効果的な連携により生産性を高め、常に高品質なサービス提供ができる体制を整えました。

以上の結果、当第2四半期会計期間の売上高は主力事業であるイベント・展示会への出展及び主催サポートサービスが引き続き堅調に推移したことに加え、新規事業であるコンファレンス&コンベンションサポートサービス並びに商環境サポートサービスの事業基盤の構築が順調に進められたことにより、当第1四半期会計期間に引き続き前年同四半期を上回る11億59百万円(前年同四半期比23.3%増)となりました。また、当第2四半期累計期間の売上高については27億18百万円(前年同四半期比25.6%増)となりました。

一方、利益に関しては、当第2四半期会計期間の営業利益は81百万円(前年同四半期比240.7%増)、経常利益は81百万円(前年同四半期比227.3%増)、四半期純利益は49百万円(前年同四半期比174.2%増)となりましたが、当第1四半期会計期間における地方案件増加に伴う外注原価率の高まりによる一時的な売上総利益率の減少、並びに営業機能強化のための本社リニューアル費用や新体制構築のための人材採用費などの増加分を当第2四半期会計期間だけでは吸収するには至らず、当第2四半期累計期間の営業利益は1億34百万円(前年同四半期比0.9%減)、経常利益は1億32百万円(前年同四半期比1.5%減)、四半期純利益は80百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態は、資産合計24億95百万円(前事業年度末比0.1%減)、負債合計14億82百万円(前事業年度末比2.9%減)、純資産合計10億12百万円(前事業年度末比4.2%増)となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は20億14百万円(前事業年度末比2億6百万円減少)となりました。これは、新規借入等により現金及び預金が前事業年度末比95百万円増加したものの、売掛金が前事業年度末比2億62百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は4億81百万円(前事業年度末比2億3百万円増加)となりました。これは、本社事務所リニューアル等により有形固定資産が前事業年度末比60百万円増加したこと、及び関係会社株式の取得等により投資その他の資産が前事業年度末比97百万円増加したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は8億58百万円(前事業年度末比2億6百万円減少)となりました。これは、税金の支払を行ったことにより未払法人税等が前事業年度末比1億46百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は6億24百万円(前事業年度末比1億63百万円増加)となりました。これは、新規借入が約定返済を上回ったことにより長期借入金が前事業年度末比1億28百万円増加したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は10億12百万円(前事業年度末比40百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末比39百万円増加したことが主な要因となっております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ95百万円増加し、当第2四半期会計期間末には、10億86百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億40百万円(前年同四半期は67百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前当期純利益1億32百万円や売上債権の減少額2億63百万円が、法人税等の支払額1億64百万円を上回ったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億79百万円(前年同四半期は9百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出63百万円及び関係会社株式の所得による支出1億円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1億34百万円(前年同四半期は53百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入3億50百万円が、長期借入金の返済による支出1億75百万円及び配当金の支払額36百万円を上回ったこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては、平成25年5月2日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990,970	1,086,583
受取手形	64,741	64,248
売掛金	996,621	733,806
仕掛品	69,268	37,335
原材料及び貯蔵品	1,928	2,469
その他	100,060	92,090
貸倒引当金	3,019	1,991
流動資産合計	2,220,571	2,014,543
固定資産		
有形固定資産	134,288	195,088
無形固定資産	9,006	53,948
投資その他の資産		
その他	139,584	233,968
貸倒引当金	4,831	1,835
投資その他の資産合計	134,753	232,133
固定資産合計	278,048	481,169
資産合計	2,498,620	2,495,712
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,606	291,403
1年内返済予定の長期借入金	308,153	353,874
未払法人税等	168,859	22,343
賞与引当金	118,362	73,606
工事補償引当金	65	-
工事損失引当金	8,099	-
その他	141,225	117,380
流動負債合計	1,065,372	858,607
固定負債		
長期借入金	461,128	589,889
その他	-	34,382
固定負債合計	461,128	624,271
負債合計	1,526,500	1,482,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,533	158,843
資本剰余金	138,533	138,843
利益剰余金	672,338	711,586
株主資本合計	969,404	1,009,273
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	567	1,180
評価・換算差額等合計	567	1,180
新株予約権	2,148	2,380
純資産合計	972,120	1,012,834
負債純資産合計	2,498,620	2,495,712

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,164,394	2,718,847
売上原価	1,432,588	1,871,227
売上総利益	731,805	847,620
販売費及び一般管理費	596,261	713,347
営業利益	135,543	134,272
営業外収益		
受取利息	25	10
受取配当金	54	55
貸倒引当金戻入額	952	1,062
違約金収入	-	900
保険返戻金	119	756
償却債権取立益	1,219	-
雑収入	1,677	810
営業外収益合計	4,047	3,596
営業外費用		
支払利息	4,250	4,428
雑損失	509	667
営業外費用合計	4,759	5,096
経常利益	134,831	132,772
税引前四半期純利益	134,831	132,772
法人税、住民税及び事業税	50,817	19,096
法人税等調整額	344	33,430
法人税等合計	51,162	52,527
四半期純利益	83,669	80,245

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	134,831	132,772
減価償却費	14,207	17,862
貸倒引当金の増減額(は減少)	952	4,023
賞与引当金の増減額(は減少)	1,945	44,756
工事補償引当金の増減額(は減少)	91	65
工事損失引当金の増減額(は減少)	-	8,099
受取利息及び受取配当金	79	66
支払利息	4,250	4,428
売上債権の増減額(は増加)	61,216	263,307
たな卸資産の増減額(は増加)	21,328	31,392
仕入債務の増減額(は減少)	51,218	29,203
未払金の増減額(は減少)	11,873	12,774
未払費用の増減額(は減少)	2,074	4,040
その他	31,891	45,761
小計	101,089	309,053
利息及び配当金の受取額	79	66
利息の支払額	4,297	4,436
法人税等の支払額	35,100	164,382
法人税等の還付額	6,168	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,940	140,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	10,199	63,466
無形固定資産の取得による支出	227	16,364
投資有価証券の取得による支出	180	184
関係会社株式の取得による支出	-	100,203
敷金及び保証金の差入による支出	1,489	2,061
敷金及び保証金の回収による収入	2,961	2,898
その他	82	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,217	179,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	130,000	350,000
長期借入金の返済による支出	151,575	175,518
株式の発行による収入	-	552
配当金の支払額	30,179	36,798
その他	1,388	3,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,143	134,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,579	95,613
現金及び現金同等物の期首残高	789,305	990,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	794,884	1,086,583

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしてありません。

(2) 受注状況

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	2,454,532	126.2	1,427,702	149.0
合計	2,454,532	126.2	1,427,702	149.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	2,714,182	110.6	1,368,656	95.9
合計	2,714,182	110.6	1,368,656	95.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	2,164,394	129.5
合計(千円)	2,164,394	129.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	2,718,847	125.6
合計(千円)	2,718,847	125.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。